

「広島市こども・若者計画」に対するこども・若者への意見ば集の結果

ア 意見の考えを計画に取り入れたもの

区分	意見の内容	広島市の考え方	計画の修正内容
学校	エアコンに関すること (15件)	小・中学校の特別教室（移動教室、美術室、理科室など）にエアコンつけてほしいです。 【同じような意見：計10件】	使える予算（お金）には限りがあるため、教育委員会では、こどもたちが安全に学校で過ごせるよう、大きな地震が起きても崩れない学校にする工事や、快適に過ごせるよう、トイレの便器を和式から洋式にする工事などを、優先順位をつけて行っているところです。 学校のエアコンについては、クラスルームや図書室、音楽室、コンピューター教室に設置しました。最近では、小学校のふれあいひろばや、中学校の少人数指導教室に設置しました。 そのほかの特別教室や体育館へのエアコンの設置については、こどもたちが安全に快適に過ごすためには、どのような工事を優先させるかを考えながら、検討していきます。 みなさんからの意見を参考に、「教育環境の充実に取り組む必要があること」として、生活の様式が変化して、家庭のトイレの多くが和式から洋式に変化していることや、地球の温暖化の変化に対応していくことも必要であることを、「生活様式等の変化に対応した環境の整備」と、計画に書き加えました。 また、＜主な事業・取組＞の「学校施設の老朽化対策等」の取組内容にも、同じように書き加えました。 ※修正の内容は、資料「こども・若者からの意見を参考に計画を修正したところ」をご覧ください。
		体育館にエアコンを設置してほしいです。 なぜなら、地球温暖化などの影響で夏が絶望的に暑くなり、授業や部活動などに支障が出かねないと思ったからです。ご検討よろしくお願いします。 【同じような意見：計5件】	
	トイレに関すること (6件)	学校のトイレをきれいにしてほしい。 【同じような意見：計4件】	
		学校のトイレを優先に、新しくしてきれいにしてほしい。古すぎてトイレに入りづらい。	
		トイレを明るい雰囲気で、清潔そうなところにしてほしいです。	
		使える予算（お金）には限りがあるため、教育委員会では、こどもたちが安全に学校で過ごせるよう、大きな地震が起きても崩れない学校にする工事や、快適に過ごせるよう、トイレの便器を和式から洋式にする工事などを、優先順位をつけて行っているところです。	
		トイレをきれいにする工事については、こどもたちが安全に快適に過ごすためには、どのような工事を優先させるかを考えながら、検討していきます。	

区分	意見の内容	広島市の考え方	計画の修正内容
こどもの遊び場 遊び場に関する こと (19件)	バレーボールができる体育館を作してほしい。	それぞれの区に、バレーボールができるスポーツセンターや体育館などを作っていますので、利用してみてください。また、広島市立の学校にある体育施設を、平日の夜や土・日・祝日に開放して、地域の人が使えるようにする取組も行っていますので、これらも利用してみてください。	みなさんからの意見を参考に、令和5年度に行った「こどもアンケート」の結果をもとに、遊び場などに関するこども・若者の意見を、計画に書き加えました。 ※修正の内容は、資料「こども・若者からの意見を参考に計画を修正したところ」をご覧ください。
	公園でボール遊びをさせてほしい。 サッカーゴールをつくってほしい。	公園でのボール遊びは、基本的には、自由に行えることになっています。一部の公園では、公園を管理するのに困る場合に、ボール遊びを禁止しています。この場合は、ボール遊びができる近くの公園を利用してください。 サッカーゴールを設置するためには、広い敷地や、ボールが外に出ないよう防球ネットなどを必ず設置する必要があります。そのほかにも、事故を防止するため、常に管理する人がいなければならないなど、サッカーゴールの設置は簡単ではありません。そのため、サッカーゴールがある専用の施設を利用して、サッカーを楽しんでください。	
	こども達が自由に遊べる公園や公共施設があってほしい。	広島市では、いろいろな遊びや活動ができる居場所（児童館、公園など）をはじめ、放課後や長い休みの間の居場所（放課後児童クラブなど）、学校に行きにくくなったときの居場所（ふれあい教室など）など、いろいろなこども・若者の「居場所」を作っていくことが大切だと考えています。 そうした中で、いまは、「三滝少年自然の家」などの野外活動施設や、中央公園のファミリープールエリア、広島広域公園のリニューアルを予定しています。 また、自然の中で自由に遊べる遊び場として、「プレーパーク」づくりなどにも取り組んでいるところです。	
	学生が気軽に遊べる場所を作してほしい。		
	中学生も楽しく遊べる場所を学校以外に作ってほしい。		
	公園やお店がなくて困っています。あそぶところが少ないです。		
	住んでいるところは遊ぶ場所が少ないから増やしてほしい。		
	雨の日に遊ぶ場所を作ってほしい。		
	雨の日でも平日外で遊ぶ所がほしいです。		
	広島にライブドームをつくってほしい。		
	田舎にコンビニを増やしてほしい。		
	あと町にショッピングセンターを作ってください。 【同じような意見：計2件】		
	阿戸町の緑を活かした施設を作ってほしいです。 阿戸にファミレスやコンビニを作ってほしいです。		
	若者が遊ぶ場所が一箇所に集中していることや、体を動かせる公園が少ない結果、広島の人口の流出度が増えているのだと考えます。 若者をターゲットにしたアミューズメントパーク(ボーリングや映画館、ゲームセンター、食事、買い物がすべて出来る場所)を市内周辺だけでなくアストラムライン沿いに作ってほしいです。ディズニーランドやＵＳＪのように広島にも流行りに乗っていて何回行っても楽しめる場所があると、人がもっと集まると思います。ディズニーランドやＵＳＪは、可愛くて人気なキャラクター目当てで来る人もいるので、広島で人気なキャラクターとコラボした何かを開催したら人が集まると思います。		

区分	意見の内容	広島市の考え方	計画の修正内容
	若者が遊ぶ場所が一箇所に集中していることや、体を動かせる公園が少ない結果、広島の人口の流出度が増えているのだと考えます。 そのため、いろんな年代の人が利用できる大きな公園を増やしてほしいです。大きな老朽化した公園をリニューアルして、カフェを建設して、みんなの憩いの場にしたら、もっと良くなると思います。		
	「子ども・若者の居場所づくりの取り組み」について、子ども達がサッカーなど自由にボール遊びを楽しみ、挑戦できる公園をたくさん作ることを提案します。理由は、子ども達の楽しみであるボール遊びができない公園が増えており、遊びが制限されてしまうからです。 例えば、サッカーをしようとする、クラブチームや部活をしてない等基本学校でするしかありません。ちょっとしてみようとしても体験に行かなければならず、敷居が高いです。その結果、サッカー人口の減少やスポーツによる人との関わり方などを知る機会が減ってしまいます。 クラブや部活動は、地域と交流があるので地域社会の活性化も望めます。サッカーに気軽に挑戦できれば、サッカー観戦に来る人で市内に活気が出たり、新たな魅力にもなると思います。何より、ボール遊びのできる公園が作られることで、地域の方と子ども達とのトラブルが減り、子ども達だけではなく地域の方々が住みやすくなると思います。	広島市では、いろいろな遊びや活動ができる居場所（児童館、公園など）をはじめ、放課後や長い休みの間の居場所（放課後児童クラブなど）、学校に行きにくくなったときの居場所（ふれあい教室など）など、いろいろな子ども・若者の「居場所」を作っていくことが大切だと考えています。 そうした中で、いまは、「三滝少年自然の家」などの野外活動施設や、中央公園のファミリープールエリア、広島広域公園のリニューアルを予定しています。 また、自然の中で自由に遊べる遊び場として、「プレーパーク」づくりなどにも取り組んでいるところです。	みなさんからの意見を参考に、令和5年度に行った「子どもアンケート」の結果をもとに、遊び場などに関する子ども・若者の意見を、計画に書き加えました。
	広島に、ポケモンに関する広場、公園のようなものを作ることを提案します。理由は二つあります。 一つは、ポケモンという世界的に人気なキャラクターを、人が交流しやすい公園に作る事でコミュニティの発展が見込める。 二つ目は、スマホゲームポケモンGOにおいて、定期的に行われる大きなイベントの対象都市になれば、経済的な動きが期待できる。ポケモンGOは、世界的なユーザーが多く、毎年様々なリアルイベントが行われ、日本の都市で開催後、全世界で開催されます。現地には、日本はもちろん世界から多くの人が旅行者として訪れ、ホテルへの宿泊や地元の料理を楽しむ人が多く、経済的な効果も見込めます。また、広島の魅力が伝わるのではないかと思います。もちろん、こちらからも全力で広島のいいところを発信する姿勢を見せるべきです。ポケモンGOをほどほどにプレイした後、観光が目的で訪れる人もいます。海外の観光客に広島の魅力を伝える事も非常に重要な事だと考えるので、是非検討してください。	みなさんの意見を参考にしながら、今ある居場所を良くするなど、安心して過ごせる居場所づくりを進めていきます。 また、今回のみなさんからの意見については、これから、子ども・若者が安全に安心して遊べる環境を充実させていく上での参考とさせていただきます。	※修正の内容は、資料「子ども・若者からの意見を参考に計画を修正したところ」を見てください。
	オリンピックでスケボー（スケートボード）が流行ってきていて、広島市はスケボーをする環境が少なすぎるので、広島からオリンピック選手を生み出すために、もっと広島市にスケボーのパークをつくってほしいです。 なぜなら、スケボーはただ滑るだけではなく、スケボーを通じてたくさんの仲間が作れるのがこの競技の魅力でもあるし、広島がもっと盛り上がると思ったからです。	広島市では、「ひろしまゲートパーク」の「MOTOMACHI SKATEPARK（モトマチ スケートパーク）」と、「西部埋立第六公園」でスケートボードをすることができます。 また、令和8年3月に、広島競輪場にスケートボード場ができる予定です。	みなさんからの意見を参考に、スケートボードなどのアーバンスポーツに関する取組を、計画に書き加えました。 ※修正の内容は、資料「子ども・若者からの意見を参考に計画を修正したところ」を見てください。

イ 意見の考えが既に計画に盛り込まれているもの

区分	意見の内容	広島市の考え方	計画のページ
学校			
制服に関する こと (1件)	学校の制服が無料でもらえるようになってほしい。	学校の制服は、保護者やこどもの意見を聞きながら、学校ごとにP T Aなどが中心になって決める仕組みになっています。 経済的に困っている家庭には、新入学児童生徒を対象として、制服等入学に際して必要となるものを買うためのお金（新入学学用品費）を支給する「就学援助」という仕組みがあります。 また、学校によっては、P T Aが無料や安い料金での制服のリユース（再び使うこと）に取り組んでいるところもあります。	55
給食に関する こと (1件)	中学校も給食にしてください。	広島市では、令和3年に作成した「学校給食の充実に向けた給食提供体制の見直し方針」において、全ての児童生徒に、温かく栄養バランスのとれたおいしい給食を提供することとしています。 この方針のもと、多くの中学校で行っている選択制のデリバリー方式を順番にやめているところです。そして、令和8年1月に「広島市北部地区学校給食センター（仮称）」が開始すれば、市立の小中学校などの全ての児童生徒に、食缶で給食を提供できるようになる予定です。	35
いじめ防止に 関すること (1件)	「こども・若者の居場所づくりの取り組み」について、いじめがなくなり、みんなが楽しく学校に通える、誰かに相談できる環境ができてほしいです。理由は、いじめられてしまった人が学校に来れなくなってしまったり、いじめを相談できない人が多くいると思ったからです。 海外では、ペイントで「いじめをするな」と呼びかけたり、「ポジティブ行動支援」というものが行われています。日本もいじめ予防を呼びかけていると思うけど、全員が意識できていないと思うので、小さい子でも理解しやすい文やイラストでもっと呼びかけてほしいです。例えば、学校で対策を取ったり、いじめを訴えやすい環境を作ったりすれば、みんながいじめについて意識してくれるのではないのでしょうか。	全てのこどもたちが安心して学校生活を送ることができるよう、アンケートや教育相談で不安や悩みを相談できるようにしています。 また、電話やL I N Eなどから相談できる窓口を紹介したカードを配るなど、相談しやすいように取り組んでいるところです。 さらに、児童会や生徒会が中心となって、いじめ防止の呼びかけなどに取り組んでいる学校があり、こうした取組を他の学校に紹介しているところです。	71-73

区分	意見の内容	広島市の考え方	計画のページ
居場所・遊び場			
放課後の居場所に関する こと (1件)	プレーパークは遠いから行けません。家の近くの集会所で、将棋やオセロ、トランプ、かるた、百人一首、花札など、昔ながらの遊びを無料で教えてくれる居場所がほしいです。 学校が終わってから母が帰ってくるまでの時間が、怖くて一人で家で待てません。最近ニュースで強盗が多いので、余計に怖くなりました。でも、母は正社員になりたいと言っています。こまりました。正社員は夕方6時まで仕事になるようで、そこから帰ってくるともっと遅くなります。どうしたらいいですか。児童館は小さい学年が優先され、小4はあまり入れません。	広島市では、昼間に保護者が家にいない家庭が増えていることなどから、放課後に子どもが安心して過ごすことができる居場所を作っていくことが大切だと考えています。 放課後の居場所として、広島市には、放課後児童クラブや児童館があります。放課後児童クラブは、申し込みが必要ですが、保護者が仕事などで家にいない小学生が、平日は夕方6時30分まで利用できます。児童館は、子どもは誰でも、平日は夕方6時30分まで利用できます。 これからも、みなさんの意見を参考にしながら、今ある居場所を良くするなど、安心して過ごせる居場所づくりを進めていきます。	40-43
こども文化科学館に関する こと (1件)	こども文化科学館がなくなったら、広島県でプラネタリウムがなくなるかもしれないから、さみしいし、いやです。	こども文化科学館は、リニューアル工事の期間中は、いったんお休みしますが、その間も、学校や地域などでの出前講座や出張展示、サイエンスショーなどを行う予定です。 これからもこども文化科学館を楽しんでいただけるように取り組んでいきます。	48
交流場所に関する こと (1件)	交流場所・時間を作る。 (理由1) ・親にも友達にも相談できないような人が、少しでも逃げれるようにするため。 ・一人で抱え込んで自殺に追い込まないようにする、自傷行為をしないようにするため。 ・健康被害などなく、健康体で過ごせるようにするため。 (理由2) ・一人ひとりの個性を知る機会を作る。 ・意見を尊重する意味を知ってもらう。 ・コミュニケーション力を身につける。	広島市では、こども・若者の皆さんが、「主体性」（自分で考えて行動する力）、「自立性」（他の人に頼らずに自分でやる力）、「社会性」（みんなと仲良くしたり協力したりする力）を身に付けることができるように、様々な体験や交流ができる機会などを提供することが大事だと考えています。 こうした取組を、みなさんの意見を参考にしながら充実させていきたいと考えています。	44-50

区分	意見の内容	広島市の考え方	計画の ページ
子育て支援			
	ひとり親家庭に関すること (1件) 「ひとり親家庭をサポートする取り組み」について、私の家庭が母子家庭で母に少しでも楽をさせたいから、病院の料金を無料にしてほしいことと学校の学費を免除してほしいです。 理由は、家庭の負担を減らしてほしいからと、学校で必要なものは少しでも安く売ったらいいと思うからです。 母子家庭や父子家庭では、両親家庭とは違い一人で子どもを育てることで精神的にも肉体的にもストレスがかかります。そして、うつ状態になり、子どもにもストレスがかかります。 札幌市では、平成26年にひとり親家庭等が十分な収入を得て自立した生活を送ることができるように、就業支援の充実を「札幌市ひとり親家庭等自立促進計画」の基本目標の⑦に掲げ、積極的に就業支援策を始めたと聞きました。ぜひ、広島県の母子家庭や父子家庭の人たちを支援していただき、ひとり親家庭の親と子どもにも充実した暮らしをしてほしいです。	ひとり親家庭への支援については、これまでの取組を、令和7年度にさらに充実させる予定です。 具体的には、ひとり親家庭の子どもを対象とした学習を支援する場所を広げるとともに、個別に学習を支援する人を新たに配置します。 また、支援を必要とする家庭へ、様々な体験活動への招待や食品提供などの情報をSNSでお知らせします。 さらに、就職を支援するため、窓口に行かなくても、夜遅い時間や朝早い時間でも相談できるように、オンラインでキャリアカウンセラーなどに就職の相談ができるようにします。 これからも、ひとり親家庭へ、就業の支援、子育てや生活への支援、経済的な支援を中心に、幅広い支援に取り組んでいきます。	82-85

区分	意見の内容	広島市の考え方	計画のページ
生活			
悩みや困りごとの相談に関すること (3件)	「重点的に取り組む内容」の「(6)いろいろな相談サポートの取組」に、「直接会って話す、電話・SNSなどいろいろな方法で相談を受け付ける」とあります。直接会って話す・電話相談はどこの相談窓口でも対応していると思いますが、SNS（特にLINE）での相談は実施していないところも多いと思います。 直接や電話だと緊張するから行きにくいし、メールは普段使っていないので難しいです。困っていてもハードルが高くて相談出来ない人がいます。是非どこの相談窓口でもLINEで相談できるようにしてほしいです。	児童相談所では、SNSを活用した「親子のための相談LINE」により、子どもに関する様々な相談を受け付けています。 チャットなどのSNSを使った相談は、子ども・若者のみなさんにとって、使い慣れているコミュニケーションの方法だと考えています。 そのため、みなさんの意見を参考にしながら、これからも、SNSを活用した子ども・若者からの多様な相談方法を検討していきます。	53
	悩みを言う場所を、広島的女子限定でのLINEがあったら嬉しいです。	みなさんの意見を参考にしながら、これからも、SNSを活用した子ども・若者からの多様な相談方法を検討していきます。	53
	広島市への意見 ・もっと相談所を増やす。 ・交流場所・時間を作る。 (理由1) ・親にも友達にも相談できないような人が、少しでも逃げれるようにするため。 ・一人で抱え込んで自殺に追い込まないようにする、自傷行為をしないようにするため。 ・健康被害などなく、健康体で過ごせるようにするため (理由2) ・一人ひとりの個性を知る機会を作る。 ・意見を尊重する意味を知ってもらう。 ・コミュニケーション力を身につける。	広島市では、「こども家庭センター」や「青少年総合相談センター」など、様々な相談窓口で子どもや若者からの相談を受け付けています。 また、子どもや若者が気軽に相談できるよう、電話や面接のほかにも、SNSなどを活用して様々な相談支援を行っています。 また、令和7年度には、地域の身近な場所で気軽に相談できるよう、新たに「地域子育て相談機関」という窓口を設置することになっています。 みなさんの意見を参考にしながら、これからも、子ども・若者からの多様な相談方法を検討していきます。	53 58
交通に関する こと (1件)	歩道が狭く、歩行者と自転車が衝突してしまう可能性があるため、自転車専用の道路、または道路の使い方を定期的に学校で教えるようにすること。	交通事故から子どもたちの身を守るために、学校において、自転車の交通ルールやマナーの指導を行っているところです。 交通安全の意識がこれまで以上に高まるよう、学校と協力しながら、交通安全教育の取組を進めていきたいと考えています。	98

ウ その他（今後の事業・取組の推進に当たり、意見の考えを参考にするものなど）

区分	意見の内容	広島市の考え方
学校	備品に関する こと (5件)	学校のみんで使うものは、それぞれの学校の予算（お金）の中で、先生や事務の方が必要なものを決めて買っています。トイレをより快適な場所にするために、こどもたちの意見を先生に伝えて、一緒に考えてみてください。
	学校の掃除用品を新しく追加してほしい。	学校のみんで使うものは、それぞれの学校の予算（お金）の中で、先生や事務の方が必要なものを決めて買っています。 「新しい掃除道具があれば、もっと学校をきれいに掃除することができる」というような前向きな意見を先生に伝えて、一緒に考えてみてください。
	・トイレへのスリッパの設置 ・学校の机の拡大 ・図書室に過去問や教材の設置 ・黒板消しの修復	「トイレへのスリッパの設置」、「図書室に過去問や教材の設置」、「黒板消しの修復」について、学校のみんで使うものは、それぞれの学校の予算（お金）の中で、先生や事務の方が必要なものを決めて買っています。先生に意見を伝えて、一緒に考えてみてください。 「学校の机の拡大」について、学級で児童生徒が使う机は、令和4年度から学校の希望に基づいて、幅と奥行を5cmずつ大きいサイズの机に順番に交換しています。 教室の広さや1学級あたりの児童生徒の人数によっては、教室が狭くなってしまうため、大きいサイズの机を希望していない学校もあります。
	女子トイレに整理用品を置いてほしいです。	学校においては、急に生理になるなどの理由により、児童生徒が生理用品を必要とする場合、養護教諭などが保健室で返却不要の生理用品を渡すようにしています。こうした場面は、教職員が児童生徒の「困り感」を把握する有効な機会となり得ることから、今後もプライバシーに十分配慮しながら、対応を継続していきたいと考えています。
	靴を入れるロッカーをもっと大きくしてほしい。	教室で靴を入れるロッカーは、備え付けのもの以外、全ての市立学校でサイズを統一しています。 教室の広さと1学級あたりの児童生徒数によっては、現在のロッカーの大きさがでないと教室が狭くなってしまう学校もあるため、最適な大きさを考えています。みなさんからの意見は今後の参考にします。

区分	意見の内容	広島市の考え方
校舎に関する こと (2件)	部活専用のスペースを室内にとってほしい。	部活動は、生徒の皆さんが安全に活動することができるよう、限られた施設の中で、活動場所の施設・設備の点検や、活動における安全対策などを行いながら、工夫して行われています。これからも、生徒の皆さんが安心して活動することができるよう、安全な環境作りに取り組んでいきます。
	廊下に壁を作ってほしい。	使える予算（お金）には限りがあるため、教育委員会では、子どもたちが安全に学校で過ごせるよう、大きな地震が起きても崩れない学校にする工事や、快適に過ごせるよう、トイレの便器を和式から洋式にする工事などを、優先順位をつけて行っているところです。 廊下に壁を作る工事については、子どもたちが安全や快適に過ごすためには、どのような工事を優先させるかを考えながら検討していきます。
給食に関する こと (2件)	給食はバイキングがいい。	学校給食は、文部科学省が作成した基準に基づき、栄養のバランスのとれた献立を作成し、提供しています。 学校給食を通して、成長に応じた栄養バランスの良い食事を体験してもらい、生涯にわたって健全な食生活の実現につなげたいと考えています。 一方で、食事の楽しさを感じることも大切です。そのため、給食の時間が楽しい食事の時間となるよう、これからも取り組んでいきたいと考えています。
	ドギーバッグを導入してほしい。	文部科学省が作成した「学校給食の衛生管理に関する基準」には、「調理後の食品は適切な温度管理を行い、調理後2時間以内に給食できるよう努めること」と、「パン等残食の児童生徒の持ち帰りは、衛生上の見地から禁止することが望ましい」とされています。また、給食の適切な温度管理や消費期限の管理がされない場合、食中毒を起こす恐れがあるため、食べ残しの持ち帰りは禁止としています。 学校給食は、成長に合わせて必要な栄養や量を提供しているため、給食の時間に食べることができるよう、給食指導の充実に取り組んでいきたいと考えています。

区分	意見の内容	広島市の考え方
先生に関する こと (2件)	先生の給料を増やしてほしい。	学校の先生の給料は、法律などで決まっています。国は、学校の先生の給料を、今よりも高くするように法律を変える予定です。法律などが変わった場合は、広島市の学校の先生の給料も少しずつ高くなる予定です。
	高校生ですが、先生の生徒に対しての言葉遣いが限度を超えています。人なので勘違いで怒ることなどありますが、勘違いを解いても理不尽に怒ってきたり、「病気？」といったような言葉を使ってくる先生が居ますメンタルが強い子ばかりではないので、その一言の言葉で不登校になる子が1人でも増えてしまいます。改善していただけると嬉しいです。	教員のこどもへの言葉かけは、こどもの思いや考えを知り、こどもへの支援を行うための重要な方法となります。そのため、各学校では、こどもの状況に応じて、適切な言葉遣いで指導を行う必要があります。先生の言葉遣いについてご不安な気持ちを抱いておられるようであれば、直接高校にお問い合わせいただくと、言葉遣いの意図を聞くことができるのではないかと思います。もし、高校へのお問い合わせが難しいようであれば、広島市立高校のことに關しては広島市教育委員会に直接電話連絡等によりご相談いただくことも可能です。これからも、生徒の皆さんが安心して学ぶことができるよう、教員の指導力の向上に取り組んでいきます。
制服に関する こと (1件)	女子高校生の悩みなのですが、冬にスカートの下に体操ズボン（長ズボン）を履いていますが、地域の人には治安が悪いと思われ、学校に苦情が来ます。そのため、先生にはタイツを履くように言われていますが、タイツは生地が薄く、冬の寒さには耐えられません。私たち女子高校生は、寒い中で足を出して登校していますので、冬にスカートの下にズボンを履いてもいいと言う環境・地域にしてほしいと思っています。	校則（学校のきまり）は、その時々児童生徒の実情、保護者の考え方、地域の状況、社会の常識などを考慮したものになっているか、各学校において、積極的に見直す必要があります。教育委員会としては、校則の見直しに当たって、児童生徒が、“校則は自分たちの学校生活をよりよくするために必要なものである”と捉えることができるよう、児童生徒が主体的に話し合ったり、考えたりする機会を設けるなどの取組を進めるとともに、保護者や地域からの意見を聴くなど、児童生徒・保護者等との共通理解のもとで取り組むよう、市立学校に伝えているところです。今後もこうした校則の見直しについて、各学校に周知・徹底していきたいと考えています。

区分		意見の内容	広島市の考え方
	受検に関する こと (1件)	受検に自己表現をいれることをやめてほしい。 受検を当日点ばかりで評価するのはやめてほしい。	「自己表現」は、「自己を認識し、自分の人生を選択し、表現することができる力」が、生徒の皆さんにどのくらい身に付いているのかをみるために行うものです。 これらの力は、生徒の皆さんが大人になり、社会に出ていった際に必要になってくると考えており、中学校を卒業する15歳の段階で、皆さんにこのような力を身に付けてもらいたいと考えています。 広島県の公立高等学校の入学選抜では、一次選抜において、全校共通で学力検査や調査書、自己表現等の配点の比重が決まっている「一般枠」と、各校が配点の比重を定める「特色枠」があります。興味のある学校について調べてみてください。
居場所・遊び場			
	勉強のできる 場所に関する こと (5件)	学生が気軽に勉強出来るカフェを作してほしい。	広島市では、いろいろな遊びや活動ができる居場所（児童館、公園など）をはじめ、放課後や長い休みの間の居場所（放課後児童クラブなど）、学校に行きにくくなったときの居場所（ふれあい教室など）など、いろいろなこども・若者の「居場所」を作っていくことが大切だと考えています。 「勉強ができる場所」もそのひとつですので、勉強ができる場所も含めて、みなさんの意見を参考にしながら、今ある居場所を良くするなど、安心して過ごせる居場所づくりを進めていきます。
		学生が気軽に遊べたり、勉強できる場所を作してほしい。	
		気軽に勉強できるようなカフェなどを作してほしいです。	
		勉強スペースのあるきれいな図書館を設置してほしい。	中央図書館が、令和8年度当初にエールエールA館へ移転し、自習スペースのある新しい図書館になる予定です。
		図書館で自習スペースをつくってほしい。	
	英語を習える 環境づくり (1件)	「こども・若者の居場所づくりの取り組み」について、小さい頃から英語を習える環境を作してほしいです。 理由は、小さい頃から英語を習っていたら、耳が慣れて吸収しやすく、大きくなってから学びやすいことや、英語を話せるようになったら色んな人とコミュニケーションがとれるからです。こどもの頃から、英語の絵本や歌を読み聞かせたりすると、こどもが楽しみながら学べ、英語力も付き、耳が慣れると聞きましたので、保育園等で取り組みをぜひよろしくお願いします。	保育園などでは、外国人のこどもなど、文化などが異なる様々なこどもも一緒に生活をしています。 そうした園のこども達は、日々の生活や遊びの中で、多言語の絵本や歌、各国のあいさつや言葉に触れる機会があり、自然に様々な言葉に触れています。 このように、様々な人との出会いや異なる文化に触れる活動を通して、こどもが自ら言葉や文化の違いを感じ、興味・関心を持って、楽しく関わっていけるよう取り組んでいるところです。

区分	意見の内容	広島市の考え方
子育て支援		
経済的な支援に関すること (2件)	「子育てにかかる費用の負担を軽くする取組」について、広島市はすでに子育てにかかる費用を負担してくれているけれど、まだ負担は軽くなっていないと思うから、もっと支援や制度を増やすべきだと思います。 子育てにかかるお金はいくら支援があっても足りないから、支援額を増やしてほしい。親の収入が多ければ支援を受けられないことがあるのが、問題だと思います。 ノルウェーでは、育児休暇中も賃金の80～100%が補償される制度を利用して、ほとんどの家庭で赤ちゃんが1歳になるまで父親と母親の両方が自宅で子育てを行うため、0歳児を保育園に通わせる必要がありません。赤ちゃんが1歳になったときには、親の就労状況に関係なく、すべてのこどもが保育園に通うことができます。ノルウェーの保育園は、育児により社会との接点を失いがちな親の孤立を防ぐことも利用の目的とされています。仕事の有無に関係なく、すべての親に目を向けたきめ細かい子育て支援が行われているのです。 日本では、親の収入が多いと受けられない支援があるので、親の収入が多くても、こどもの人数によっては支援を受けられるようにする。また、特待生制度のレベルをもう少しゆるくしてください。	これまでも、様々な「子育てにかかる費用の負担を軽くする取組」を行っているところです。昨年度（令和6年度）も、保育料の負担を少なくする範囲を広げたり、こどもの医療費の補助を行う対象年齢を中学3年生まで広げるなど、子育て家庭の経済的な負担が減って軽くなるよう取り組んだところです。 また、令和7年度から始まる「こども・若者計画」においても、「子育て家庭の経済的負担の軽減」を重点的な取組としています。 これからも、国が行う支援策も考慮しながら、広島市の状況に応じた支援策を検討していく必要があると考えています。 また、地域によって支援に差が生じることなく、全国で統一した支援策が行われるよう、これまでと同様に、他の都市と共同して国へ要望していきます。
	眼鏡を無料にしてほしいです。	こどもや子育てにかかる費用の負担を軽くする取組については、国が決めたルールや広島市の状況を踏まえて、それぞれの取組を進めています。 広島市としては、引き続き、こうした取組を進めるとともに、いただいた意見を参考にしながら、国の動きにも注意していきたいと考えています。

区分	意見の内容	広島市の考え方
生活		
生活	生活に関する こと (2件)	広島ドラゴンフライズのニュースを、もっと増やしてほしい。
		ドラゴンフライズの活躍は、市民に元気と勇気を与えてもらえるため、広島市も応援などに取り組んでいます。そして、ドラゴンフライズが活躍することで、テレビや新聞でのニュースが増えると考えていますので、みんなで応援していきましょう。
	交通に関する こと (3件)	こどもも仕事やバイトができるようにしたい。
		小中学生のこどもが働くことは、法律で基本的に禁止されています。 広島市では、こども・若者が、仕事ができる年齢になって社会に出たときに、自分らしく自立した社会生活を送ることができるよう、こども・若者の貧困の解消や、相談への対応、居場所づくりなど、様々なこども・若者の支援に取り組んでいるところです。
		自転車の走るスペースを広くしてほしい。
		歩道が狭く歩行者と自転車が衝突してしまう可能性があるの で、歩道を広げること。
その他	感想 (4件)	区内の中学校にバスで通っていますが、バスの本数が少ないため、登下校に時間がかかる上に、自分以外の生徒も買い物に行くのに困っています。 バスの本数を増やしてほしいです。
		みなさんからの意見をバス事業者へ伝えたところ、「運転手不足などにより、バスの増便は困難な状況です。ご意見は、今後の参考にさせていただきます」と回答がありました。
		「こども・若者計画」をもとに、すべてのこどもや若者の皆さんが、心も身体も健やかに成長できる、「こども・若者と子育てにやさしいまち」を目指して取り組んでいきます。
		「こども・若者計画」をもとに、すべてのこどもや若者の皆さんが、心も身体も健やかに成長できる、「こども・若者と子育てにやさしいまち」を目指して取り組んでいきます。
	感想 (4件)	とても具体的な内容で、未来の自分たちに役立つと思うからいいと思う。
		すごい・さすがと思える取り組みだと思う。